Creative Enzymes®

NAD+-ジフタミド ADP-リボシル転移酵素

Cat. No. EXWM-2664

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ジフテリア毒素およびいくつかの他の細菌毒素は、この反□を触媒し、翻訳伸長因子2（EF2）を不活性化します。受容体はジフタミドで、古細菌およびすべての真核生物に見られる翻訳伸長因子のヒスチジン残基の独特な修飾ですが、真正細菌には見られません。cf. EC 2.4.2.31 NAD(P)+-タンパク質-アルギニン ADP-リボシル転移酵素。EF2の関連するヒスチジンは、哺乳類ではHis715、酵母ではHis699、ホリコッカス・ホリコシイではHis600です。
別名	ADP-リボシル転移酵素; モノ(ADPリボシル)転移酵素; NAD-ジフチアミン ADP-リボシル転移酵素; NAD+:ペプチド-ジフチアミン N-(ADP-D-リボシル)転移酵素

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.4.2.36
CAS登□番号	52933-21-8
反□	NAD+ + ジフタミド-[翻訳伸長因子2] = ニコチンアミド + N-(ADP-D-リボース)ジフタミド-[翻訳伸長因子2]
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。お客□の仕□に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。